



毛呂山思い出写真館



東武越生線武州長瀬駅前の写真  
 昭和53年1月（杉田幸夫さん提供）

当時、武州長瀬駅前は、駐車場として使われており、また、建物も少なく、悠久園まで見渡せました。しかし、現在駅前には広場としてきれいに整備され、建物も多く立ち並ぶようになり、遠方まで見渡すことはできなくなりました。

現在の風景



募集中

昭和60年代ごろまでの昔の写真を募集しています。提供いただける方は、役場秘書広報課広報広聴係 ☎ (295)2112 内線332までご連絡ください。

徒然歳時記

かき 柿



柿は古くから日本人に親しまれてきました。もともと東アジアで生まれた果物ですが、奈良時代にはすでに中国から日本に伝わり、「古事記」や「日本書紀」の中にも柿が記されています。

柿は、甘いものが少なかった時代には大変貴重な果物でした。冬になると、実をもいだ後の柿の木の枝に柿の実が1つだけ取り残されているのを見かけたことがある人も多いと思います。これは「木守り」といい、来年もたくさん実をつけてほしいという願いを込めた行事です。このような行事が残っていることから日本人が昔から柿とのつきあいを大切に思ってきたことがわかります。

ところで「柿が赤くなると医者<sup>ことわざ</sup>が青くなる」という諺があります。これは、柿の栄養価が非常に高いといわれているからです。その1つがビタミンCです。柿1つでみかん3~4個分のビタミンCが含まれており、大きめの柿を1個食べれば、1日に必要なビタミンCを摂取することができます。

その他にも、柿に含まれるタンニンは、アルコールを体外に排出するのを助けるので、二日酔いに効果的です。さらに、美肌効果も期待できます。

夏の終わりの疲れや、紫外線をたくさん浴びた肌を癒すのにピッタリな柿。みなさんも柿を食べて元気に秋を過ごしてください。



今年の夏は本当に暑い日が続きました。この号が出るころには少しは涼しくなってくれていればいいのですが……。さて、9月号の巻頭は、子ども議会ですが、自分の質問を暗記して、議場で堂々と質問をしている子どもたちを見ると、その姿に圧倒されるとともに毎年元気をもらっている気がします。子どもたちに負けずに日々元気に過ごしていきたいものです。(1)

わがやのアイドル



やまはた さくら  
 山端 桜生ちゃん  
 (5歳3か月)

ガンコではずかしがりやな桜生。前はゴーオンジャーが好きで将来不安？でしたが、今はリルぷりっに夢中♡ 4月からお姉ちゃんとよさこいを習い始め、みんなに元気を“ちゅうしゃし隊”でがんばってます。



しょうらい  
 坂本 照英くん  
 (1歳2か月)

電車とトラックが大好きで、見かけるたびに、大興奮!! たくさん食べて、たくさん遊んで、たくさん笑って、元気に成長してね。

■ 秘書広報課では「わがやのアイドル」を募集中です。  
 申・問 役場秘書広報課 ☎ (295) 2112 内線 332

人口 36,625 人 (-35 人)  
 【男 18,237 人 (-10 人) 女 18,388 人 (-25 人)】  
 世帯 15,754 戸 (+1 戸)  
 ※平成 22 年 9 月 1 日現在 (カッコ) 内は前月比

口広報もろやまは、役場ホール、両公民館、図書館、保健センター、教育センター、総合公園体育館、歴史民俗資料館、福祉会館に置いてあります。